

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野四丁目計画	階数	地上41F 地下3F
建設地	神奈川県相模原市南区相模大野四丁目4009-45	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,760 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2022年1月25日
敷地面積	10,186 m ²	作成者	三井住友建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
建築面積	3,389 m ²	確認日	2022年1月25日
延床面積	69,058 m ²	確認者	三井住友建設株式会社横浜支店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 先進的な環境配慮への取組みと建物1,2階に店舗を設置により、地域貢献が可能な施設となるよう計画。		その他 0
Q1 室内環境 ・日本住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4 を取得。 ・ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない材料を全面的に使用する計画。	Q2 サービス性能 ・日本住宅性能表示基準 3-1劣化対策等級3 を取得。 ・住戸階高を3300mm以上とし、ゆとりある空間を演出。	Q3 室外環境 (敷地内) ・「景観条例」相模大野駅周辺環境デザイン計画を遵守し、街並みに調和する建物外観計画。
LR1 エネルギー ・住戸の熱源設備はエコジョーズ、エネファームを採用。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル促進対策として、住戸は二重床・二重天井とし、配管や配線が躯体や仕上材と錯綜しない計画。 ・仕上げは、躯体+軽鉄+仕上材とし、分別が容易にできる計画。	LR3 敷地外環境 ・住宅用の自転車置場は1,187台とP' け場50台を確保。 ・住宅用の駐車場は207台と敷地内に管理用・荷捌き用車両スペースを確保。入口から駐車場まで幅6mの車路を設け、待機・車寄せスペースも確保。安全対策のため出入口に庫灯、カーブミラーを設置。 ・来客用駐車場を5台確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される